

北総研研究発表会

北方型はゼロエミへ 今年度から基準など見直し

北方建築総合研究所では、去る5月18日に旭川市内の大雪山リスタルホールで「平成23年調査研究発表会」を開催。省エネと室内環境、丈夫な建物の構造と材料など5つの部門に分けて30課題の



大勢の住宅業界関係者が集まった発表会会場

研究成果を発表するとともに、道立総合研究機構の戦略研究の紹介や、ヨーロッパの海外調査報告なども行われた。

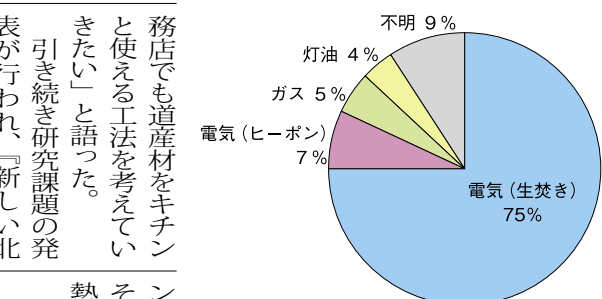
当日は研究発表に先立ち、企画調整部長の福島明氏が道総研の戦略研究「『新たな住まい』と森林資源循環による持続可

能な地域の形成」を紹介。これは平成22年度から26年度にかけて行われる研究で、道内の森林資源を活かしながら地域産業として成り立つ住まいづくりの実現が大きなテーマ。福島氏は「木材に限らず道産材の用途を拡大するとともに、どの工

務店でも道産材をキッチンと使える工法を考えていきたい」と語った。引き続き研究課題の発表が行われ、「新しい北方型住宅に関する研究」では居住科学部の廣田誠一氏が「北方型住宅E C OはQ値が1・3Wより小さい物件が増え、年々性能が向上している。断熱仕様は充てん十付加が80%で、基礎断熱は75%、スカート断熱も80%が採用。換気は第3種が

『木造住宅の繊維系断熱材を使用した住宅内騒音低減手法に関する研究』では、同じく廣田氏が発表。間仕切り壁にグラスウールを入れた場合、マット品よりブローイングのほう効果が大きい製品を使うより厚さを増すほうが有効なこと、床衝撃音も天井ふところ

にグラスウールを入れる場合は高密度品を使うほうが厚さを増したほうが良く、マット品よりブローイングのほうが効果的であることなどを報告。



北方型住宅E C Oの暖房熱源

7割、1階床組は根太レス工法がほとんどを占める。暖房給湯熱源は電気が圧倒的に多い」と、北方型住宅の性能・仕様の傾向を報告。

また、「北方型住宅は今後ゼロエミッション化に取り組んでいく。そのためには、さらに断熱性を高めていくことが

求められ、特に開口部が重要になる。後は寒冷地のヒートポンプと熱交換システムとの性能向上、地域材の利用などが必要。具体的な仕様としてはQ値0・7Wで暖房は地中熱ヒートポンプ、給湯はエコキュート、太陽光発電は8kW以上でC O₂排出量がゼロになる。今年度から基準・制度の見直しを進めていく」と、今後の方向性も示した。

「塩ビサイディングによる超長期住宅外装システム開発」では、居住科学部の村田さやか氏が塩ビサイディングを使った高耐久・低環境負荷の新築・改修向け外装システムについて発表。改修では通気層のある既存外壁の上から付加断熱を行う場合、既存通気層は上部・下部のいずれかを塞いでいけば断熱性能が向上すること、室内側に防湿層がない場合は壁内結露対策として付加断熱材の熱抵抗値を既存の充てん断熱材の1・8倍とすることなどを説明。

また、既存給気口については、周囲の付加断熱材を薄くして空隙を確保するなどの工夫により、塩ビサイディング裏面の空間から直接室内への給気が可能になることなども明らかにした。



酒井さんが最初に届けたコネギ・ミズナ・ホウレンソウ・トマト

アキレス(株)北海道営業所に勤める酒井善光さんは、家族を宮城において札幌で単身生活。札幌生活も1年になるうとうとときに東

日本大地震が起きた。日本海まわりでなんとか自宅に戻り、家族や近所の生活再建、親せきの見舞いなど一通りのことを済ませ、いったん札幌

に戻り、ゴールデンウィークに再び自宅に戻って酒井さんは驚いた。自宅近くに約100名が暮らす避難所があったのだ。そこは東北本線・品井

アキレス・酒井さん 家族で被災者支援活動

に娘さんが通学に駅を利用できるようにになって初めてわかった。避難暮らしについて訪ねたところ、野菜類が不足しているとのこと。ここにはわかってはいるつもり

が来たり、それなりの生活変化があるようだが、ここではそういったこともない。地震被害については十分にわかっているつもり

野菜類。現在は野菜類が足りているようで、その都度確認して差し入れていくそう。

酒井さんの活動に関する情報は、編集部・白井までご連絡ください。(☎011・736・9811)

野菜類差入れ続ける

宮城・松島の小さな避難所に

沼駅前の農村環境改善センター。有名な景勝地・松島から内陸側に数km入った地点で、東松島市の人たちが暮らしていると

れを知った酒井さんは、自費で近隣の農家から野菜を購入し、差入れを開始した。

大型の避難所には毎週仕出しがあったり芸能人写真が避難所の外観と内部。そして差し入れた

写真は避難所の外観と内部。そして差し入れた

写真が避難所の外観と内部。そして差し入れた



松島町の避難所外部と内部

新規購読者紹介でステキなプレゼント!



新規購読者も、ご紹介者も選べる3つの特典!

1

ジョージア缶コーヒーケース(30本)

2

クオカード ¥3,000分

3

東日本大震災義援金

締め切り
8月31日(水)弊社へのご紹介分まで

詳しくは今号の折込チラシで!

北海道住宅新聞社 北郡(きたごおり)
TEL.011-736-9811